

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【公開番号】特開 2006-92187 (P2006-92187A)
 【公開日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-014
 【出願番号】特願 2004-275814 (P2004-275814)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/033 3 6 0 A

G 0 6 F 3/033 3 6 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 3 日 (2007.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タッチペンを接触させて操作する操作面を備える本体部と、
 前記本体部に対して移動自在に連結され、前記タッチペンを操作する手をのせる手支持部と、
前記手が前記手支持部に接触した位置座標、又は前記手により前記手支持部に加えられる接触圧力のうちの少なくとも一つを検出する検出手段と、
前記検出手段の検出結果に基づいて前記本体部を操作する制御部と、
を備えたことを特徴とする携帯情報端末装置。

【請求項 2】

前記本体部を覆うカバー部であって、前記手支持部を有するカバー部と、
 前記本体部の側部と前記カバー部の側部と連結し、前記本体部の側辺と平行な回転軸を中心に前記操作面と平行になる位置まで前記カバー部を回転させると共に、前記カバー部における前記操作面に対向する面と前記操作面とが平行な位置状態を維持する軸部と、
を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の携帯情報端末装置。

【請求項 3】

前記本体部を覆うカバー部であって、前記カバー部における前記操作面と対向する面とは反対の面に前記手支持部を有するカバー部と、
 前記本体部の角部と前記カバー部の角部とを連結し、連結した箇所を中心に前記カバー部を前記操作面に対して平行に回転させる軸部と、
を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の携帯情報端末装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

前記目的を達成するために、本発明にかかる携帯情報端末装置は、タッチペンを接触させて操作する操作面を備える本体部と、前記本体部に対して移動自在に連結され、前記タ

タッチペンを操作する手をのせる手支持部と、前記手が前記手支持部に接触した位置座標、又は前記手により前記手支持部に加えられる接触圧力のうちの少なくとも一つを検出する検出手段と、前記検出手段の検出結果に基づいて前記本体部を操作する制御部と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、前記本体部を覆うカバー部であって、前記手支持部を有するカバー部と、前記本体部の側部と前記カバー部の側部と連結し、前記本体部の側辺と平行な回転軸を中心に前記操作面と平行になる位置まで前記カバー部を回転させると共に、前記カバー部における前記操作面に対向する面と前記操作面とが平行な位置状態を維持する軸部と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、前記本体部を覆うカバー部であって、前記カバー部における前記操作面と対向する面とは反対の面に前記手支持部を有するカバー部と、前記本体部の角部と前記カバー部の角部とを連結し、連結した箇所を中心に前記カバー部を前記操作面に対して平行に回転させる軸部と、を備えたことを特徴とする。